



行動が意識を変える！ まずは動き出す、そこから悩んだり工夫が始まる。支えるのは学びと対話と仲間。

(R5.8 枚方市教育委員会 教職員課 高山和子 作成)

【1番印象に残ったことと理由】

- 「わたしが教職を続ける原動力は、楽しさです」の言葉。なるほどと、思いました。1日の三分の一は、仕事なので、それを楽しめるようにするために、自分は管理職としてどう動いたらよいかと考えました。
- 自分たちが変える。まずは自分自身、当事者性をもつことが大事だと思ったから。
- これまで「変えることはできない」と思い込みが改革を進められなかったんだと、事例集を読んで感じました。
- やりがいの共有や実行力は意識を変えるとの言葉。時間短縮を考えがちですが、このことがとても大事だと感じた。
- 登校時刻を遅くした学校があったこと。今まで働き方改革を考えていくうえで、実現可能と考えたことがなかったため。
- 「社会を変えるための第一歩」をまず自分から始めようという思いを研修から感じた。
- ストレスチェックの活用。働きやすい職場づくりに生かそうと、教頭の時に取組の視点としたことであり、改めて生かしたいと考えたから。
- 学校の業務について、職員全員で見直し、改善を図っていること。その発想が自分には持てていなかったの。
- 複数の学校が連携して働き方改革を行っていること。自校だけでの取り組みや、教育委員会からのトップダウンによる取り組みはあるが、他校とつながり取組が広がっているのが新鮮だった。
- 管理職が声かけしているだけでは、取組が進まず困っていましたが、教職員にアンケートをとったり、働き方改革について意見を交流することが、教職員の意識改革につながると感じました。
- ワークと対話の時間。枚方市の学校の様々な取組実践を学ぶとともに、自校や市内学校の取組と比較したり、意見交流したりすることができたから。

あなたの組織はどちらに近いですか？



「ともに」考え・実行し、悩んだり、喜んだり、さらに改善する組織へ。「自分たちの働き方を自分たちで見直す」ことは、達成感が伴い、次へのモチベーションにもなります。業務改善等を考える場については、まずは既存の企画委員会等を活用する・校務分掌に新たに位置づける・推進リーダー任命型・やりたい人集まれの立候補型・・・等、校長先生の考え方によって様々です。まずはそのメンバーのベクトル合わせ→行動→じわじわと全体の意識向上へ。

話し合うことが「step 0 (ゼロ)」



【自校の取組を進める上で、どのようなことをしたいと思ったか】

- やってみたいと思う事を出し合い、一つのことから始めて、成果を実感しながら進めたいと考えた。
- ICT活用など、だいたいの方策はできているが、一番難しいのは、職員の意識を高めることだと思う。トップダウンだけではなく、職員全体で話し合っていきたい。
- まずはみんなで話し合う。自分の意見が聞いてもらえる、学校の改善につながっているんだと教職員のモチベーションをあげていくことができるのと、つながりを絶たないということが大切。ベテラン層が考えている働き方改革と若手教員が考えている働き方改革にも違いがあり、教育の質をさげない観点から、子どものためになる働き方改革にしていきたい。
- 業務改善推進委員会メンバーを募る、委員会を開催する、業務改善(働き方改革)をより進めるための研修をする。
- デスク周辺の整理整頓。みんなで働き方について話し合う。会議の持ち方の改善。
- 業務改善アンケートや聞き取りを実施し、推進チームをつくりたい。
- 「やりがい」が感じられるカリキュラムマネジメント。

この研修の意義は、参加者の皆さまが、同じテーマで対話できたことにあります。その中で、「意外と進んでるかも!」と自信を持ったり、「こんなことしたいね」と話ができたり…。次回は、実際何か行動したか?を交流できたら素敵ですね。最初はうまくいかないことの方が多いですが、うまく進む学校も出てきます。それを交流し「まねる」ことで、うまくいく学校が増えます。そういうことを何度も繰り返し良いスパイラルに乗っかると、楽しくなってきます。本市もまだまだ道半ばです。自治体は違いますが、教育を担う者としてよりよい学校職場づくりについて、共に取り組みましょう!

【全体を通して、気づきや考えたこと】

- みんなでアイデアを出し合うことで意識も変わっていく実践に勇気づけられました。福祉の観点から物申さないといけないので、もう一捻り必要ですが、社会の風潮にも影響すると思うと、保育の現場も変わる必要があると思うので、頑張りたい。
- 実現できると信じて地道に取り組むこと。早速クリーンデスクを実践しました。いつまで現状維持できるか、目標に向かって地道に進めます。
- 自校では、働き方改革という視点で話し合う機会はあまりなく、当事者意識も高くなかったかもしれない。授業改善と同じで、業務改善もベクトルを合わせ、みんなでやっていく力が大切。一人一人がやりがいをもって働き続けられる改革、組織改革が必要だと思った。市教委と学校が丸となって取り組んでいることが大変参考になった。
- まずは考えたことをやってみる。いろいろな価値観があるからか、やる前に挫折してしまうことがあったので、やってみてから分析したい。
- どちらかというより独りよがり改革してきたので、今日の研修で、皆で話すことをもっと大切にしたいと思った。でも自分のしてきた実践と同じこともたくさん出てきて、間違っはなかったのだなああとホッとした。これからも働きたくなる職場にしていきたい。
- 行動すれば変えることができる。これまでの当たり前を見直して本気で魅力ある職業にしていきたい。教師も子どもも元気な学校を目指していきたい。そして人材確保も視野に入れていきたい。教育委員会や管理職の先生方と一緒に研修を受けることができたことが、次に繋がる貴重な時間だったと思う。
- どうしても管理職が考えていくことと、捉えているところがあったので、職員全員で話し合うという発想がすばらしいと思う。本校はすでに色々取り組んでいるのですが、ちょっと手詰まり感があって、これ以上どこをどうしていけばいいのか困っていました。あとは、地域や保護者への理解をどう進めるかが、大きな課題の一つです。少しでも進めていきたい。
- チームで取り組みを進めることの大切さを改めて感じました。みんなでそれぞれの思いを共有し、取組を進められるようにしたい。話し合いの場もったり、職員と職員を繋いだり、自分がすべきこと、できること等々について考える機会をいただきました。
- たいへん充実した時間でした。学校をあげて組織的に取り組むことの大切さやその効果にふれ、自校でどのようなことができるか、校長先生といろいろと話を深めるきっかけとなりました。

枚方市 教職員課ブログ:働き方改革の取組等について発信しているのでご覧ください(^)/

